

教授内容(講義内容・指示内容・発問内容)や教授技術(全体構成・板書など)以外の重要なポイント

# 生徒と教員との関係性の視点

## 【関係性は全ての共同実践の根幹である】

—授業内容が素晴らしいのに、成果が少ないのは信頼関係にあるかもしれません—

### ●【あるべき姿】検証すべき仮説は数多く存在する

前回のシリーズで、検証すべき仮説は数多く存在すると書かせていただきました。  
板書などの授業技術でおよそ30以上、アクティブラーニング型授業の授業技術で20～30ほどと紹介しました。  
が、授業の成否として検証すべきものがすべて揃ったかといわれますと、そうではありません。  
これに**生徒と教員との関係性**に関する内容を追加検証すべきと弊社では考えます。

### ●【現状】一般的に行われている授業アンケート(学校独自のもの、もしくは、業者さん提供の授業アンケート)

どの授業アンケートを見渡しても  
生徒との関係性に関する要素は  
検証対象に入っておりません。

生徒に信頼される言動の検証

すなわち、

とても大事な要素なのに、見直しの対象になっていません。

…

できない



…

十分な検証

### ●【進化型】関係性を検証する授業アンケート

(授業力が確実に高まる授業アンケート)・・・弊社スタイル

関係性検証のための設問は、

**20**個まで

お問い合わせ

切り離さずそのままお送り下さい FAX.075-212-7016

☐ 詳しい説明を聞きたい ☐ 詳しい資料をみたい

貴校名

電話

ご担当者お名前

メール

株式会社ヒューマン・リンク  
京都市中京区泉正寺町  
電話 075-212-7015  
FAX 075-212-7016